

# モザンビーク共和国の概要

(Republic of Mozambique)



1975年にポルトガルから独立した、アフリカ東南部に位置する共和制の国。

日本からモザンビークまでは、乗継時間も含めると飛行機で約24時間かかります。時差は、日本より7時間遅れています。

南半球に位置するため季節は日本と反対です。気温は11月から4月にかけて高く(22-31℃)、5月から10月は過ごしやすくなります(13-24℃)。

数年前までは、政情不安定のため、観光旅行は危険でさえありましたが、今では治安もよくなり、現在は、南部アフリカの中でも最も魅力にあふれる観光地の1つとなっています。

多くのビルが建ち並ぶ大都会マプトの街並み、活気あふれるナイトクラブ、色とりどりのマーケット、海岸線に点在する伝統的な漁村風景などは、アフリカ、アラブ、ポルトガルの影響を受け、大変魅力的です。

主な特産品には、「木彫り細工」、「草木で編んだ民芸品」、「カシューナッツ」があげられます。



首都マプトを訪れた観光客が必ず訪れる「マプト中央駅」。フランス・パリにあるエッフェル塔や、アメリカ・ニューヨークにある自由の女神をデザインしたギュスターヴ・エッフェル氏がデザインしたもので、その美しさから、死ぬまでに一度は訪れたい世界の美しい駅ランキングにも選ばれています。



特産品のカシューナッツ。日本では高価なものが、モザンビークの市場では安く手に入り、思う存分食べることができます。



モザンビークは、ルビーの産地としても最近注目を集めています。少しオレンジの色味を持つモザンビークのルビーは、上品さを感じるルビーとして高い人気を誇ります。

## 基本情報

1. 面積 79.9万平方キロメートル (日本の約2倍)
2. 人口 約2,967万人、人口増加率1.0% (2017年：世銀)
3. 首都 マプト (人口約127万人、2017年:INE (モザンビーク統計局推計人口))
4. 言語 ポルトガル語
5. 県内市町の姉妹都市・友好都市 なし